



JICHI MEDICAL UNIVERSITY
SAITAMA MEDICAL CENTER
自治医科大学

さいたま医療センターだより

TEL.048-647-2111 FAX.048-648-5180 URL : <http://www.jichi.ac.jp/center>



(さまざまなアジサイ)

センターだより 第56号 ご案内

- バロック音楽の演奏法の変遷 (リウマチ膠原病科 教授 小竹 茂)
- 薬よもやま話・・・第14回 薬の管理について
- お知らせ・・・感染制御室からのお知らせ
麻しん(はしか)の予防はできていますか?
ファミリーマートサテライト店からのお知らせ
脳ドックのご案内

さいたま医療センター 理念・基本方針

理 念

1. 患者中心の医療
2. 安全で質の高い医療
3. 地域に根ざした医療
4. 心豊かな医療人の育成

基本方針

1. 患者の皆様を尊重し、開かれた安心できる医療を提供します
2. チーム医療を推進し、安全で質の高い医療を提供します
3. 地域との連携を深め、基幹病院としての役割を果たします
4. 地域医療に貢献する医療人を育成します



バロック音楽の演奏法の変遷

リウマチ膠原病科 教授 小竹 茂

2018年4月1日付で、自治医科大学附属さいたま医療センター 総合医学第1講座教授を拝命いたしました小竹茂です。私の専門はリウマチ膠原病科となりますが、今回は着任の自己紹介ということで趣味のお話をさせていただきます。

以下の私の拙文に最後までお付き合いいただけましたら幸いです。

私は学生時代、大学のオーケストラでヴァイオリンを演奏しておりました。学生時代の私は、カール・リヒター（1926-1981）によるJ. S. バッハ（1685-1750）演奏に魅せられていました。マタイ受難曲、数々の教会カンタータ、そしてブランデンブルグ協奏曲、管弦楽組曲、ヴァイオリン協奏曲、等々。カール・リヒターは教会音楽家であり、オルガンやチェンバロもこなす、まさにバッハのような総合的な演奏家であり、その緊迫感に満ちた峻厳な音楽が私は好きでした。リヒターはモダン楽器を使い、合唱もソプラノは少年ではなく女性歌手を起用していました。当時まだレコードの時代でしたが、足しげく、秋葉原の石丸電機のレコード売り場で「アルヒーフ」のレコードを購入していました。さらに当時の動画はVHSのビデオでしたが、リヒターのブランデンブルク協奏曲のビデオも入手し何度も繰り返しみていました。そのリヒターが急逝したのは1981年2月15日です。享年54歳でした。

もう一人のモダン楽器での、バッハ鍵盤音楽の演奏家がグレン・グールド（1932-1982）です。ピアニストとして、グールドはまさに時代の寵児でした。しかし独特の演奏法、演奏時の独特の声、演奏会を拒否など、異端でもあり、音楽愛好家のなかでも好き嫌いがはっきりわかれると思います。私はグールドのバッハ演奏に魅せられ、やはり当時レコードで、ゴールドベルグ変奏曲、平均律クラヴィア曲集、イギリス組曲、フランス組曲、パルティータ、イタリア協奏曲等、グールドのバッハの鍵盤曲を次々と購入していました。また、カナダの放送局制作のビデオまで購入していました。このグールドもリヒターの他界した翌年の1982年10月4日に急逝してしまいました。享年50歳でした。

リヒターとグールドというモダン楽器を駆使したバッハ演奏の2大巨星が相次いで若くして急逝してしまいました。私は当時、大変衝撃を受けました。そしてリヒターとグールドの亡き後は、丁度、その潮流がすでに1960年代からあったわけですが、いわゆる、当時の楽器を使い当時の演奏法で演奏する『ピリオド楽器演奏』が、1980年代には爆発的なブームとなっていきました。（なお、ピリオド楽器は、「オリジナル楽器」あるいは「古楽器」とよばれていました。）その2大演奏家はニコラウス・アーノンクール（1929-）とグスタフ・レオンハルト（1928-2012）です。さらに、この2人に続く代表的な演奏家は、フランス・ブリュッヘン、クイケン3兄弟、トン・コープマン、クリストファー・ホグウッド、ジョン・エリオット・ガーディナー、トレバー・ピノック、アンナー・ビルスマ等々です。レオンハルトは当時既にチェンバロ演奏の重鎮で、バッハの伝記映画でバッハ役を扮するくらいの存在であり、まさに

『バッハの化身』でした。ちなみにバッハはかなりの技量のヴァイオリン奏者だったようですが、レオンハルトも初期のレコード録音ではヴァイオリンで参加している程です。

ピリオド楽器の中には、オーボエ・ダモーレ、ヴィオラ・ダ・ガンバ、フラウト・トラベルソなど、現在は通常使用されていない楽器がありますが、音色も味わい深く大変興味深かったですし、アーノンクールやコープマンらの激しく機敏なピリオド楽器演奏は面白く聴くことができました。また、ある日、江戸川橋のトッパン・ホールにクイケン3兄弟の弦楽5重奏を聴きに行きましたが、まさに『枯淡』の境地で、ピリオド楽器演奏の懐の深さに感じ入りました。ただ、ピリオド演奏における合唱では、少年がソプラノのソロを担当していますが、この点を私は、多少物足りなく感じていました。アマチュア音楽演奏家、特にバロック音楽およびバッハ愛好家の私が感じていた1980年代から1990年代の頃の当時の状況は上述のとおりです。

その後、このピリオド楽器演奏への反動のように、ベルリン・フィルの演奏家がアンサンブルによるバロック音楽を演奏し始めました。そのコンサートが、2001年に日本で催され、私も所沢（航空公園駅）まで聴きに行き、衝撃を受けたことを今でもまざまざと覚えています。ベルリン・フィル奏者の高度な技術で次々と奏でられるバロックの室内楽の名曲の数々。まさに圧巻でした。リコーダーのソリストもミカラ・ペトリという超一流奏者でした。解説付きのコンサートで解説者はバッハ研究の泰斗である磯山雅先生でした。このように、ピリオド楽器演奏の大きな潮流に対して現代楽器奏者も影響を受けており、実際、ヴィブラートの奏法や使用する楽器・弓・弦などで、折衷的な奏法のオーケストラや個人演奏家が存在するというのが現在の状況です。

最後にバッハ演奏の名盤は何か？と聞かれたら私は迷うことなくヘンリク・シェリング（1918-1988）によるJ・S・バッハ：ヴァイオリン協奏曲（全3曲）を挙げます。私の最も好きなバッハの名曲のひとつであり、その最高の演奏です。なお、シェリングは、ポーランド人でメキシコに帰化したヴァイオリニストであり、主な使用楽器は1743年製ガルネリです。

私の好きなバッハの演奏の大きな流れの変化を学生時代から実感し、医師になって診療、研究と教育に従事しながら、コンサートなどにも時間があれば行き、暇を見つけてはヴァイオリンを練習し、ヴァイオリン教室の発表会にも毎年参加して、あるいは市民オーケストラの一員となり、それなりにバロック音楽・古典音楽を楽しんできた中で、自分が実感したことを中心に書いてみました。

バロック音楽がお好きな方がいらしたら声をおかけいただければ幸いです。



第14回



薬の管理について

薬剤部

大塚 潔

今回は、薬の管理、残薬の問題を考えてみましょう。

家庭における残薬の問題は、飲み忘れ・飲み残しなどが原因で、各家庭に薬が余ってしまうことを言います。平成27年度「薬局の機能に係る実態調査」によると、医薬品が余った経験があると回答した人は59.9%にのぼっています。みなさんの経験から、風邪薬をもらったが治ったので余った、解熱剤や抜歯後の痛み止めなど頓服薬をもらったが飲んでいない、などはよくあることだと思います。こういった薬を「いつか使うかもしれない」と取っておくので、薬が残ってしまうのが現状だと思います。マスコミの論調や国会質疑においては、特に高齢者による飲み忘れが多いと指摘されていますが、この調査によると、年齢の違いによる差は大きくなかったという点が興味深く、20歳代の方において飲み残しが生じる割合が高いとする民間の調査もあります。なお、高血圧などの慢性疾患で長期処方される場合に残薬が多いと指摘されることもあります。この調査では、処方日数の違いによる差は大きくなかったという結果が出ています。ただし、服用する薬の種類が多いほど、残薬が発生する患者の割合は増加する傾向にあります。また、残薬が生じた理由について、平成26年度の患者に対する調査では、「外出時に持参するのを忘れたため」「病気が治ったと自分で判断し飲むのをやめたため」「処方された日数と医療機関への受診の間隔が合わなかったため」「種類や量が多く、飲む時間が複雑で飲み忘れた」の順で多く、いずれも2割を超えています。日頃患者さんに接する薬剤師の79%も「患者の服用忘れ（漏れ）」が原因であると指摘しています。家庭における残薬を解消すれば、医療費削減の可能性もあります。

<飲み忘れ防止策>

皆さんも、飲み忘れ防止や確認に対策を講じられていることと思います。一つの方法として、市販のピルケース（お薬ケース）を活用する方法もあります。プラスチックのケース、壁掛けタイプや携帯用もあります。



<飲み忘れの対処>

飲み忘れた場合の対処法は、薬や症状によって違います。決して前回飲み忘れた分をまとめて飲まないでください。飲み忘れに気づいたら、自分で判断せずに医師や薬剤師に相談してください。

残薬を少しでも少なくするために、なぜ薬が必要か、治療で何が期待できるのかを、理解したうえで、薬を正しく服用する意識を持つことが重要になります。そして医療スタッフには、患者さんに分かりやすく服用方法や使用上の注意などを説明することが求められます。

お知らせ

感染制御室からのお知らせ

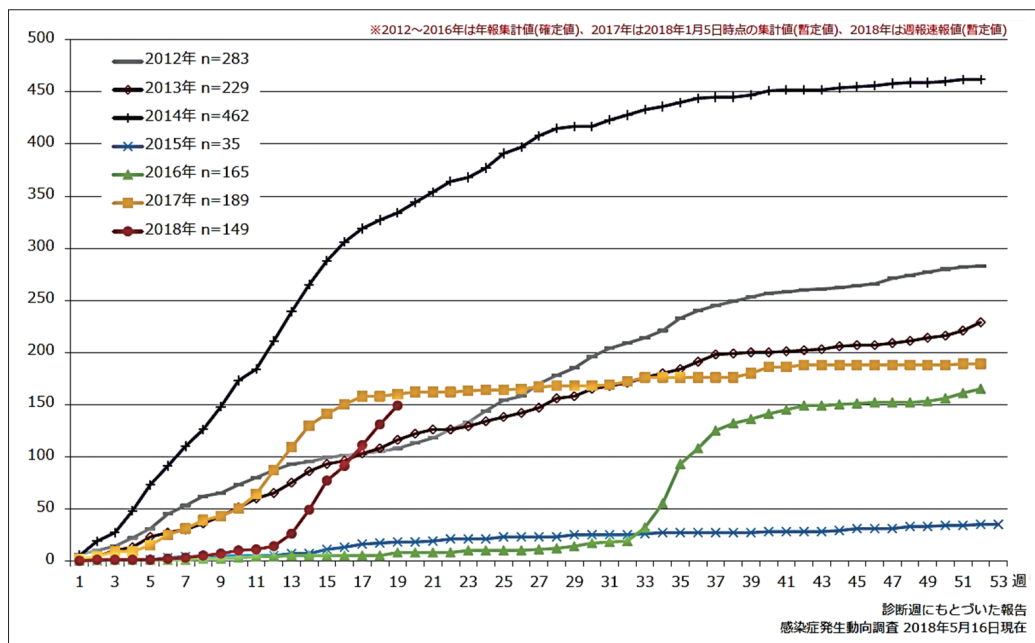
麻疹（はしか）の予防はできていますか？

1. 麻疹の発生状況

2015年に日本は世界保健機関（WHO）から麻疹排除状態にあると認定されました。しかし、2016年の関西国際空港での集団感染事例など、海外からの輸入例を発端とした流行がしばしば発生しています。今年も3月に沖縄を訪れた外国人の麻疹患者を発端として全国的に流行が拡大し、麻疹患者は150人を超えました。

図1：麻疹累積報告数の推移 2012～2018年（第1～19週）

<https://www.niid.go.jp/niid//images/idsc/disease/measles/2018pdf/meas18-19.pdf>



世界ではアジア・アフリカ・ヨーロッパで麻疹感染例が多く報告されています。麻疹は、感染力が非常に強く、感染してから発症するまでの期間が10～18日と長いため、麻疹の免疫を持たない人が海外で感染して日本で発病する輸入例を防ぐことはできません。

2. 麻疹の治療

麻疹は肺炎や脳炎になると先進国であっても感染者1000人に1人は死亡するとされている重篤な疾患です。しかし、治療薬はありません。

3. 麻しんの予防

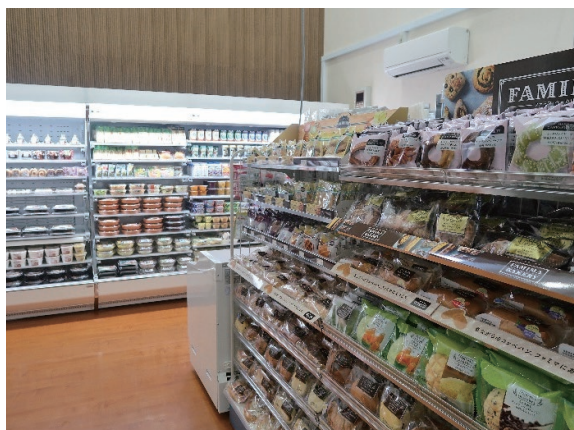
重要なのは麻しんの予防接種です。しかし、1回の予防接種では経年的に免疫力が低下することがわかっており、十分な免疫を維持するために2回の予防接種が必要とされています。そこで、小学生以上で検査診断された麻しんの罹患歴がない方、2回の予防接種の記録がない方には麻しんの予防接種が推奨されています。尚、申し訳ありませんが当センターでは予防接種を実施していませんのでお近くの医療機関にご相談ください。

南館1階（旧：休憩コーナー）に ファミリーマートサテライト店がオープンしました



営業日 月～金曜日
10:00～19:00

休業日 土・日曜日、祝日
年末年始（12/29～1/3）
創立記念日（5/14）



南館1階フロアマップ



〈取扱い商品〉

日用品、入院用品

歯ブラシ・シャンプー・ボディソープ
タオル・イヤフォン・体ふき・ストロー付き
コップ・T字帯・カッペ・紙テープ・腹帯

食料品

おにぎり・パン・弁当・サンドウィッチ
サラダ・ジュース・デザート

皆様のご利用をお待ちしております。

また、店舗周辺には飲食可能なスペースを設けておりますので併せてご利用ください。

●● 脳ドックのご案内 ●●

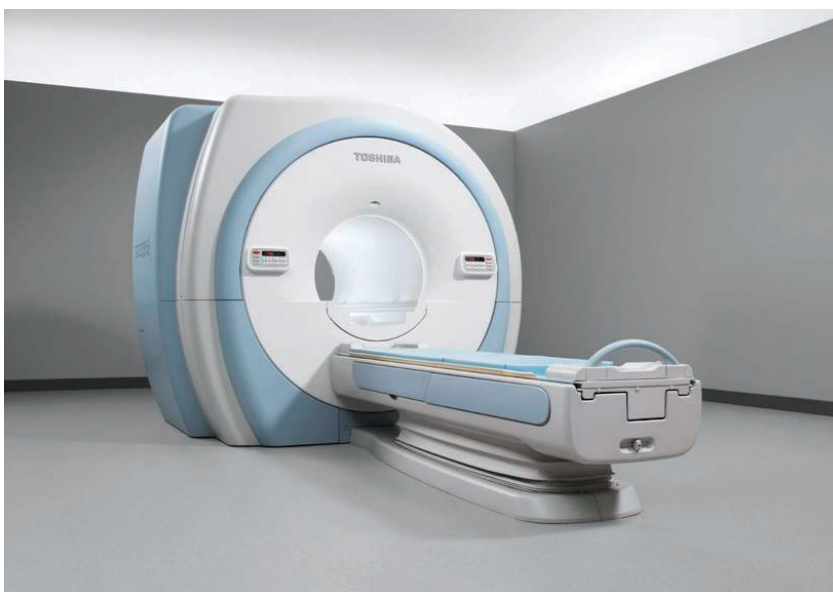
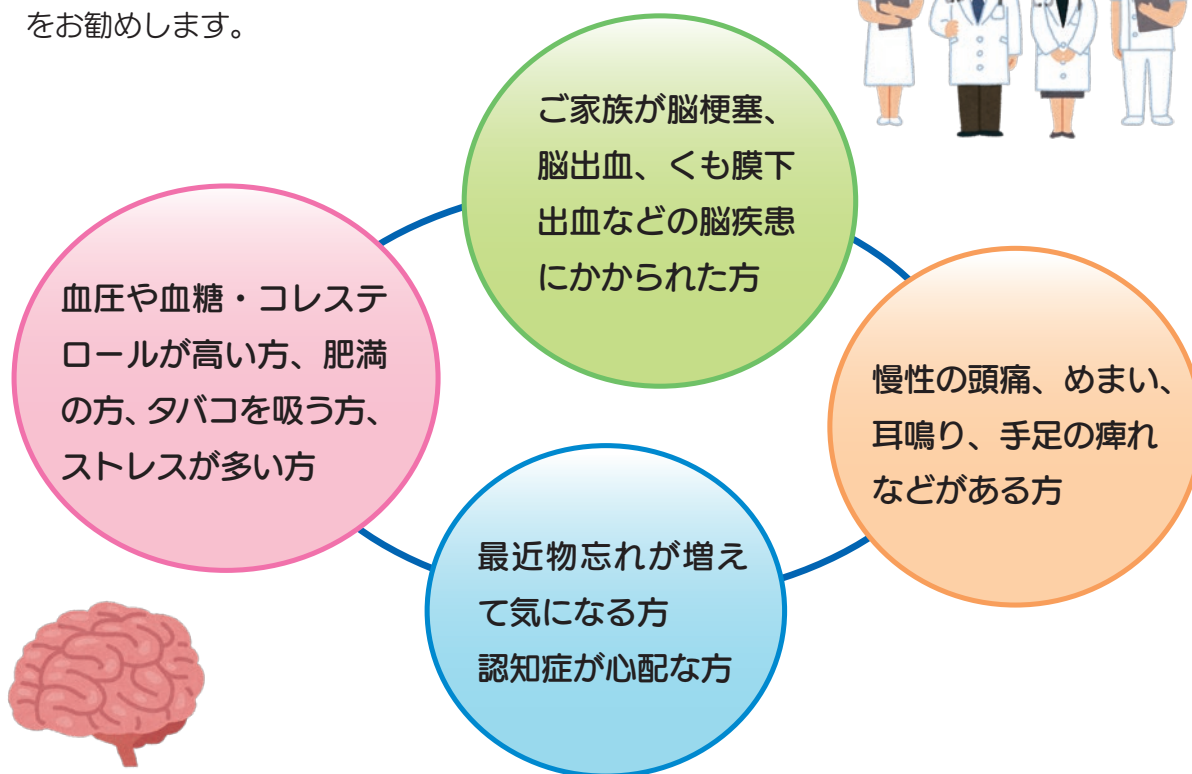
早めの脳ドック受診で早期発見、早期治療！

当センターでは最新の医療機器による脳ドックを行っています。

(当センター脳ドックは日本脳ドック学会の認定施設(NO.10098)です)


脳の健康診断を受診しましょう！

このような方に脳ドック
をお勧めします。



最新の磁気共鳴装置 (MRI)

脳ドックの内容

<p>基本検査</p>	<p>身体測定・血圧測定・血液検査・尿検査・レントゲン検査・心電図検査・頸部超音波検査・脳機能検査・神経学的検査・医師による診察と結果報告・脳MRI検査・脳MRA検査</p>
<p>希望検査 (オプション検査)</p>	<p>認知症検査 腫瘍マーカー検査 骨密度測定検査</p> 

費用

基本検査：1.5テスラ標準MRコース 80,000円（税込）
：3テスラ高性能MRコース 100,000円（税込）

希望検査（オプション）

- ・認知症検査：21,600円（税込）
- ・腫瘍マーカー：5,400円（税込）
- ・骨密度測定検査：5,400円（税込）



お申込み・お問い合わせ

脳ドック室にて受け付けております または

電話番号 **048(648)5155**

自治医科大学附属さいたま医療センター
脳ドック担当



表紙写真

さまざまなアジサイ

アジサイは、100種以上の種類や品種があると言われています。品種改良も盛んで、ガクが花の周囲を縁取るように並んだ「ガク咲き」、ガクが球形になった「手まり咲き」、幾重にもガクが並んだ「八重咲き」など、見た目も様々で私達を楽しませてくれます。

撮影：金沢看護副部長